

鹿角市地球温暖化対策実行計画に基づく措置及び施策の実施状況について（令和5年度実績）

鹿角市地球温暖化対策実行計画に基づく措置、施策の実施状況及び二酸化炭素の削減効果は以下のとおりです。

1 令和5年度の実施状況

対策1 再エネ電気メニューへの切替

内容：かづのパワーが再エネ電源を確保しながら地域の再エネを供給し、電気由来のCO₂を削減します。

削減量目標：4.62万t-CO₂、対策目標：市内電力需要の50%、約8,700万kWhの切替

削減値：5,150t-CO₂（9,754,730kWh）

＜実施状況＞

①かづのパワーの電源確保

かづのパワーの地産電源の確保に連携して取り組み、令和5年度から大沼地熱発電所及びユース田代平ウインドファームの一部電力の調達と需要家への供給を開始した。

②再エネ電気メニューへの切替促進

令和6年3月31日時点で公共施設57箇所、民間施設6箇所に契約が拡大し、令和5年度の売電量は9,754,730kWhとなった。

③地域向け電源の導入促進（再エネ推進交付金事業）

地域脱炭素移行・再エネ推進事業（重点対策加速化事業）を活用し、かづのパワーへ供給する地域向け電源について、市の遊休地で太陽光発電を実施する事業者を公募した（2件採択、令和6年度発電開始予定）。

対策2 自家消費型再エネ電源の導入

内容：自家消費型の太陽光、木質バイオマスコジェネを導入し、電気由来のCO₂を削減します。

削減量目標：0.63万t-CO₂、対象目標：太陽光10,000kW、木質バイオマス320kW

削減値：26t-CO₂、太陽光47.7kW

＜実施状況＞

①公共施設への再エネ設備の導入

市内公共施設52箇所について、環境省の二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金（地域脱炭素実現に向けた再エネの最大限導入のための計画づくり支援事業）を活用し、太陽光発電設備の導入可能性調査を実施した。

②再エネ設備の導入支援（再エネ推進交付金事業）

個人・企業の自家消費型太陽光・蓄電池の導入に係る初期費用について補助を実施した（個人：交付決定6件、47.7kW）。

対策3 EVへの切替

内容：EVに必要なインフラを整えることで、EVへの切り替えを進め、動力由来のCO2を削減します。

削減量目標：1.19万t-CO2、対策目標：市内車両の20%、旅客3,700台、貨物1,300台

削減値：41t-CO2（25台）

〈実施状況〉

① コムスを活用したEV体験会・展示会の開催

一人乗りの電気自動車コムスを活用し、7月23日（日）にコムス試乗会及び市内ディーラーによる電気自動車等の展示会をあんたらあにて開催。41人が試乗し、電気自動車購入の可能性調査と機運醸成を図った。

② コムス貸出実証

コムス2台を企業や団体に広く貸し出し、モニター調査を行い、EV転換への関心と理解を深めるための制度を創設した。

③ アンケート調査の実施

EV推進の参考とするため市民、事業者、販売店を対象にアンケートを実施した。

④ EVセミナーの開催

EVの導入について普及啓発をするためEVセミナーを開催し、講演及びパネルディスカッションを実施した。

⑤ EV販売台数

市内自動車販売店で販売されたEV（PHV含む）の販売台数は25台であった。

対策4 省エネ設備への更新

内容：省エネ機器への更新を進め、電気・熱由来のCO2を削減します。

削減量目標：0.20万t-CO2、対策目標：市内電力需要の約2%、約370万kWh/年

削減値：106t-CO2

〈実施状況〉

① 省エネ診断の促進

花輪小学校、まちなかオフィス、交流プラザ（MIT PLAZA）の省エネ診断を実施した。

② 省エネ設備更新の支援

補助件数は28件、総事業費約4,355万円、補助交付決定額2,006万円、CO2削減量は年間0.0106万トンであった。

③ 公共施設の省エネ設備への更新

下記とおり3施設の照明のLED化を行った。

十和田市民センター：LED化実施設計及び設置工事

交流センター：LED化実施設計及び設置工事

花輪さくら保育園：実施設計（令和6年度工事予定）

対策5 建物の熱対策

内容：断熱改修や電化、薪ストーブ、木質バイオマス熱利用機器の導入を進め、電気・熱由来のCO₂を削減します。

削減量目標：0.66万t-CO₂、対策目標：66件/年の断熱改修、ZEH、薪ストーブ導入、木質バイオマス熱利用3件

削減値：33t-CO₂、断熱改修補助25件、薪ストーブ4件

<実施状況>

①熱利用機器の脱炭素化

(1) 木質バイオマス熱利用の導入（再エネ推進交付金事業）

家庭向けの薪・ペレットストーブの初期費用に対し補助する制度を創設し、家庭向けの薪ストーブの導入4件について支援した。

(2) 水素利活用の検討

本市の豊富な再生可能エネルギーを活用して水素を製造し、化石燃料の代替や電力の貯蔵など利活用方法を検討した。

②建物の省エネ化の促進

耐震改修や住環境向上に対して補助をする「安全安心住まいづくり事業」において、「脱炭素促進事業」を補助対象に追加し、25件の断熱改修工事を支援した。

対策6 適切な森林管理

内容：森林経営管理計画を進め、間伐や伐採・再生林など適切な森林管理を継続し、森林吸収量を維持します。

森林吸収量の目標：吸収量14.8万t-CO₂を維持

対策目標：森林経営管理計画のカバー率100%

推定吸収量：165,000t-CO₂（直近の森林蓄材から推計）

<実施状況>

①適切な森林管理

(1) 森林経営管理推進事業

管理計画に基づく森林管理業務（管理面積541ha、うち間伐面積8.47ha、除伐面積18.3ha）を実施した。

(2) 再生林の推進

45件（28.22ha）の再生林等について届出があった。

(3) 間伐の推進

3件（52.81ha）の搬出間伐について支援した。

②林業人材の確保

林業大学生への家賃補助、新規就業雇用助成で8人分を支援した。

対策7 その他脱炭素行動の促進

内容：節電、クールビズ、節水、公共交通の利用、ごみの削減、低炭素商品の選択など、CO2削減行動に努めます。

削減量目標及び対策目標の数値目標は設定なし

＜実施状況＞

①普及啓発による意識醸成

(1) 普及啓発講座の開催

脱炭素に関する理解を深めるためカーボンニュートラル普及啓発市民講座の開催（4回）及び普及啓発パンフレットを作成した。

②脱炭素を推進する人材の確保

(1) 脱炭素業務の推進員の採用

カーボンニュートラル推進マネージャーを採用し、各種脱炭素業務に従事した。

(2) ゼロカーボン協力事業者・市民の募集

「脱炭素行動事業者認定制度」を創設し、脱炭素行動に取り組む事業者13者を認定した。

2 令和5年度の取組による二酸化炭素削減量

項目	二酸化炭素削減量目標（トン）	二酸化炭素削減量（トン）
対策1 再エネ電気メニューへの切替	4.62万	5,150
対策2 自家消費型再エネ電源の導入	0.63万	26
対策3 EVへの切替	1.19万	41
対策4 省エネ設備への更新	0.20万	106
対策5 建物の熱対策	0.66万	33
対策6 適切な森林管理	吸収量14.8万	-
対策7 その他脱炭素行動の促進	数値目標は定めない	数値目標なし
合計	7.3万	5,356（進捗率7.3%）